

基幹博物館 1 階活用提言（案）

I 1 階のコンセプト ～まちなかの賑わいに向けて～

- ① まちのミーティングプレイス（ひとが集まり活動できる場）
- ② まつもとインフォメーションスクエア（まちのHUB機能・情報発信拠点）
- ③ 博物館クオリティ&オリジナリティ（品質・独自性の確保）

II 1 階活用について

- ① **市民参加と活躍の場 ～市民が博物館を作り上げる～**
 - ・市民制作アート作品の展示（まちなかアートプロジェクトとの連携）
 - ・アーティストの滞在制作やワークショップの開催
 - ・市民団体の活動の場を提供（第2市民活動サポートセンター）
- ② **学生参加と活躍の場 ～サークルフロア～**
 - ・学生による企画制作（校外文化祭等）
 - ・大学同士が連携した合同ゼミや公開授業の開催
 - ・サークル活動や研究発表の場を提供
- ③ **観光客へ向けた文化観光情報の発信拠点 ～松本まるごとインフォメーション～**
 - ・ミニコンサートや演劇、能楽、歌舞伎、映画上映等の開催
 - ・インバウンド向けの日本語教室や浴衣レンタル事業の開催
 - ・VRやAR等のデジタルコンテンツを活用した情報発信
 - ・観光情報センターやプレイガイド機能の確保（他施設の入場券の販売等）
 - ・安曇野市等近隣市町村との連携（博物館施設等の紹介）
- ④ **企業との連携 ～ビジネスとミュージアムのドッキング～**
 - ・企業とコラボしたコンテンツ制作（山岳観光をテーマとした映像作品等）
 - ・企業スポンサー制度の活用（コーポレーションデーの実施等）
 - ・企業研修等の場を提供
- ⑤ **回遊性の向上・相互性のある賑わい創出 ～点ではなく面での発展～**
 - ・OMF、美術館、芸術館、図書館等との連携事業の開催
 - ・まちの縁側作戦と共催した館外敷地の有効活用
 - ・周辺店舗とコラボした商品の販売（飲食店組合、酒造組合等との連携）
 - ・松本の特産品や伝統工芸品のほか、地酒や地ビールの販売や紹介
 - ・地元野菜を使用したジュースやスムージーの提供

III 管理運営について

- ① **指定管理者制度導入**
 - ・NPE（非営利事業）の概念を持った事業者の選定
 - ・市場調査や広告宣伝など、マーケティング部門の専門性を担保
 - ・市民が参画する運営体系の確保（博物館協議会との連携）
- ② **事業の充実**
 - ・文化芸術活動におけるコーディネーターの確保
 - ・専門性の高い学芸・教育普及部門の直営化と専門職の充実
 - ・博物館友の会や市民学芸員との連携強化（ボランティアガイドの常駐等）
- ③ **その他**
 - ・Wi-Fi 環境の整備とキャッシュレスなどデジタル化への対応